

壬生川公民館だより

5月

壬生川地区人口 3月末現在
(前月比)
男性 2,175人 (-8)
女性 2,306人 (-17)
(合計) 4,481人 (-25)
世帯数 2,246戸 (+9)

〒799-1341 西条市壬生川 200番地
TEL・FAX 0898-64-2202
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp

カラー版は市のホームページ
に掲載しています。こちらから →



5月の主な行事予定

日	曜	行 事
2	土	休館日
3	日	休館日・憲法記念日
4	月	休館日・みどりの日
5	火	休館日・こどもの日
6	水	休館日・振替休日
7	木	壬生川小学校・地域合同運動会 実行委員会 19:00~
9	土	休館日
10	日	休館日 壬生川地区一斉清掃
11	月	壬生川地区連合自治会総会 19:30~
15	金	運動会準備(壬生川小学校運動場) 14:00~
16	土	休館日
17	日	壬生川小学校・地域合同運動会 (壬生川小学校運動場) 8:30~
18	月	臨時休館日 ※雨天で運動会が24日に延期の場合は開館
20	水	壬生川カフェ(高齢者カフェ) 10:30~ 社会福祉協議会壬生川支部総会 19:00~
21	木	17日に運動会開催の場合 運動会運営委員会(反省会) 19:00~
22	金	17日雨天時 運動会準備予備日 (壬生川小学校運動場) 14:00~
23	土	休館日
24	日	休館日 17日雨天時 運動会予備日 (壬生川小学校運動場) 8:30~
25	月	臨時休館日 ※17日に運動会開催した場合は開館
28	木	24日に運動会開催の場合 運動会運営委員会(反省会) 19:00~
30	土	休館日
31	日	休館日

講座・教室等のご案内

毎月第3水曜日は『壬生川カフェ』に!

高齢者の方をはじめ地域のどなたでも気軽に立ち寄り、話合いができるつどいの場「壬生川カフェ(高齢者カフェ)」を開催しています。

予約の必要はありません。お友達と一緒に一人でもお気軽にご参加ください。

●日時: 5月20日(水)
10時30分~11時30分

●場所: 壬生川公民館 1階 学習室3他

●持参物: 水分補給用の飲み物

●内容: 脳トレ・レクリエーション等

●問合せ: 西条市地域包括支援センター東予
TEL 66-5520



3月18日(水)は、「歌体操」で脳トレ。歌に合わせ、右手左手、違う動きをとる、集中力が不可欠な脳トレを楽しめました。

笑い声があふれて♪

壬生川地区一斉清掃

実施日 5月10日(日)

壬生川地区連合自治会では、「一斉清掃」を実施します。

自分たちの手でより美しく住みよい街にしましょう。是非ご参加ください。

不明な点は自治会等にお問い合わせください。



ご入学おめでとうございます!

春らしく穏かに晴れた4月8日(水)、壬生川小学校で、「令和8年度入学式」が行われました。夢と希望に胸をふくらませた44名の児童が、小学校生活をスタートさせました。



ご卒業おめでとうございます!



3月24日(火)、壬生川小学校卒業生39名が、先生や在校生に見送られながら、思い出いっぱいの学び舎をあとにしました。さらなる飛躍をお祈りしています。

薬膳でカラダを整える



3月13日(金)、中村しい氏を講師にお迎えし、『カラダを整える、春の薬膳講座』を開催、不調に傾いている身体を食事で整える「薬膳」について、教えていただきました。



▲「体質チェックシート」で今の自分を知る



▲講師お手製の薬膳菓子と薬膳茶

春に疲れやすい「肝」を労り、消化を助ける薬膳菓子と、免疫バランスを整え、血流を促す薬膳茶で、春のイライラを解消! 皆さんリフレッシュされていました。

「日赤募金」「社協会費」のお願い

「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります」

これが日本赤十字社の使命です。5月1日から「赤十字会員増強運動」が全国一斉に展開されます。

社会福祉協議会でも「ふれあいある福祉のまちづくり」を進めるため、市民総参加の福祉活動をめざして住民会員制度が実施されます。

今年も、各地区自治会の方々が、募金等のお願いに参りますので、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

1戸あたり
日赤募金 500円
社協会費 500円

西条市社会福祉協議会壬生川支部

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です。

全国民生委員児童委員連合会では、毎年5月12日を「民生委員・児童委員の日」、また、5月12日~18日の1週間を「活動強化週間」と定めています。西条市民生児童委員協議会では、民生委員・児童委員の存在や活動をより多くの方に知ってもらえるよう、「民生委員・児童委員の日」に併せて市役所に懸垂幕の設置やPR動画の放映など様々なPR活動を行っています。

今後とも、西条市民生児童委員協議会の取り組みや民生児童委員の活動にご理解・ご協力をお願いいたします。詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

生活福祉課 総務福祉係 Tel.0897-52-1288

【5月のごみ収集日】収集日の朝8時までに決められた場所へルールを守ってお出してください。

◆古紙 (新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ)・・・6日(第1水曜日)

◆ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶・カセット式ガスボンベ・・・13日(第2水曜日)

5月5日(火)『こどもの日』のごみ収集はお休みです。次回の収集日にお出してください。

※ごみ収集の休みを周知するごみステーション用チラシを公民館に準備しています。

壬生川小学校・地域合同運動会

地域の皆様にご支援、ご協力いただき、『壬生川小学校・地域合同運動会』を開催いたします。
皆様お誘い合わせの上、ご出場、ご観覧くださいませようご案内申し上げます。

日時：令和8年5月17日(日) 午前8時30分～

※午前中 開催

雨天の場合 5月24日(日)に延期

※24日(日)も雨天の場合 地域は中止・小学校は順延

場所：壬生川小学校運動場

- ☆お楽しみ抽選会があります。当日は、プログラムをご持参ください。
- ☆ご来場の皆様全員にご参加いただける『壬生川ウルトラクイズ』にチャレンジを！
- チャンピオンには、豪華賞品が！たくさんのご参加お待ちしております！

新任のご挨拶

4月より壬生川公民館にてお世話になることになりました。
たくさんの方々との出会いに感謝し、笑顔を忘れず日々取り組んでいきたいと思っております。
至らない点もあると思っておりますが、出来るよう努力して参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。
壬生川公民館 主事補 鎌倉 実世

壬生川小学校 からお知らせ

『資源回収』にご協力願います！

日時：5月9日(土) 午前8時～午前9時

悪天候の場合は実施しません。
お手数ですが、8日(金)までに
壬生川小学校までお問合せください。

場所：旧 JA 周桑壬生川支所
出入りする車には、十分お気をつけください。

回収物：新聞・雑誌・ダンボール・アルミ缶

- ・新聞、雑誌などを縛っていたヒモはお持ち帰りいただくと助かります。
- ・アルミ缶は、中を洗い、乾かしてください。つぶれていても構いません。
- ・スチール缶は、絶対に混ぜないでください。
- ・ジーンズ等の古着は、集めません。

お問合せ：壬生川小学校 Tel 64-2022

ひうち旬会 順不同

卒業式いろはにほへとちりぢりに
被災地の電話ボックス春寒し
百年の白れん空へ空へ咲く
ムスカリの花の瑠璃色過去未来
水面切る鯉の背鳍や風光る
スキップで帰る学童麦は穂に

稲井 卓機
石原 宏子
岡部 和代
近藤ヤス子
丸山 英子
矢野 悦子

さようなら！ につつきゴキブリを退治！

4月1日(水)、今年もゴキブリ対策に効果バツグンの「ゴキブリ団子(ホウ酸団子)作り教室」を開催しました。これにつつきゴキブリを退治！一安心！



▲皆で作れば、早くて楽しい♪

▲キャップに詰めて

ゴキブリの大好物、玉ねぎや、砂糖で作った団子。これを食べると、脱水症状を起こすのだとか…。

令和8年度の講座・教室が始まりました。令和7年度に受講いただいた方のアンケートを参考に、今年度も楽しく学んでいただける講座・教室を企画しております。随時、「公民館だより」でご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

～毎月10日は人権を考える日～

「マイクロアグレッション」とは・・・

マイクロアグレッションとは、無意識の偏見や思い込み(アンコンシャス・バイアス)が言葉や態度に現れ、否定的なメッセージとなって伝わり意図せず誰かを傷つけてしまうことを言います。多くは日常の中の些細な言動であり「自覚なき差別」とも言われています。

マイクロアグレッションは、発言した本人には悪意があるわけではなく否定的な言動をしているという意識はないため、「そんなつもりはなかった」「それぐらいのこと」と理解されないこともあります。

(参照:「人権教育リーフレット」大阪府教育センター)

マイクロアグレッションの例	問題点
○ 会社の社長が「性別や障がいなんて関係ない。実力さえあれば、ちゃんと評価する」と言う。	・現実には障がいや性別のために不利になりやすいのに、同じスタートラインで競争できるかのように言うのは、問題があったとしたら、個人の能力不足ということになってしまう。
○ 中国からの留学生に、「日本語上手だし、中国人に見えないね!」と言う。	・「ほんとうは」日本人ではない、よそ者であるというメッセージかもしれない。 ・日本人であることがよい。
○ 理数科系科目の成績がいい女子学生に、「そんなにがんばってどうするの?」と尋ねる。	・女性は理数科系が苦手である、成績はよくないはず、理数科系を専門にするわけがない、という思い込みにもとづく発言
○ わざわざ学校で教えるから、部落差別がなくならないのでは?	・教えるなということは、今すでに差別にあってる人に、泣き寝入りを強いることになりかねない。教えないことが部落問題の解決にはならない。

マイクロアグレッションは、相手に対して「意図をもってなされる差別言動」とは違い、無意識にされることが多いのです。しかし、「差別」であることには間違いありません。そのため、本人の意図にかかわらず、受け手にとってはとても大きな痛みを感じるようになります。

最近、マイクロアグレッションのような差別が多いと言えます。「もう差別などない」「私は差別などしたことない」といった言葉を聞くことが多くなってきました。「意図ある差別」は少なくなっていると言われることもありますが、心の中に「差別意識」が潜んでいる場合は、こういった差別行為として現れることがあることを、しっかり認識していることが大切です。

マイクロアグレッションは、あらゆる領域の人権課題の中に現れます。特に、人種や国籍、ジェンダー門地などのマイノリティ(外国人、女性、性的マイノリティ、障がい者、部落出身者)などにおいて、経験されている方が多いとも言えます。